

「進む温室更新計画」

岡山県立興陽高等学校

20年度・22年度と隔年で新しい温室が竣工しました。一昨年は、昭和30年に建設されて47年が経過し、鉄骨の老朽化及び腐食の進行が激しい草花温室が更新されました。この温室は切り花用温室を含め、367㎡でしたが、鉢花等栽培用温室面積だけを残した168㎡を更新しました。今後、減少した切り花用温室面積を補うため、同面積の温室を鶏舎跡地に計画しています。おもに花壇苗・鉢花生産に使用していた134㎡の草花温室は、面積を170㎡に広げ今年度末に竣工予定です。両温室ともにユニバーサルデザインの観点から全面バリアフリー化を取り入れています。

さらに、既存の家畜飼育用建築物の老朽が激しく、

今後より早い段階での更新が望まれます。畜産部では支援学校など異校種間交流の機会が増加しており、バリアフリーを取り入れた、誰にでも利用しやすく、安全な畜舎を希望しています。昨年からオープンしたアンテナショップ「たまこ」での卵の売り上げが好調な採卵鶏の規模拡大を図る計画であり、昨今の鳥インフルエンザに対する危機管理からも鶏舎の更新が望まれます。

畜産部においては、生産はもとより、家畜を介した人と人との交流により人間的な成長が期待される点や、販売を通して社会人としてのスキルアップを図る教育効果が期待されます。

